

小学校5・6年生～

2022年9月 no.83

よんでネット* 2022 秋号

発行□茅ヶ崎市立図書館／協力□茅ヶ崎図書館子どもの本の会



『^{てん}天の^{だいどころ}台所』 落合由佳

料理上手のばあちゃんが亡くなって以来、小6の少年「天」の家族は、食事も心も荒れていた。卵もうまく割れない天だったが「ばあちゃんの台所を受け継ぎたい!」と決心。口うるさい「がみババ」に料理を習い始める。「^{たんじゆうび}誕生日ケーキ」「運動会のお弁当」「カレー」。天は、家族のお腹と心を満たそうと、料理修行を続けるが…。

講談社 [913才]

『日本のことばずかん いろ』 監修 ^{かみなが さとる}神永 暁

^{かき}柿は、何色? オレンジ色? この本の中の、おいしそうな ^{がき}つるし柿の写真を見て! 柿はやっぱり、^{かき}かきいろ!! 古くから伝わることばには、身近な自然や、大切にしてきたものへの人々の思いがこめられている。たまご色、あめ色も、おいしそう。

ことばに関する自然の写真や日本の^{かい}絵画が、たくさん^{しょうかい}紹介されている。

※ 『日本のことばずかん』は、ほかにも『そら』『かず』があります。全3冊



講談社 [81コ]

『風がはこんだ物語』

ジル・ルイス 文 ジョー・ウィーヴァー 絵 さくまりみこ 訳

戦争や迫害^{はくがい}によって故郷^{こきょう}を追われ、とるものも
とりあえず小さなボートに乗り合わせた人たち。
14才のラミはバイオリンだけを持って逃げてきた。
暗い海。不安でいっぱいの人たちは、ラミに何か
弾^はいてくれとたのんだ。彼は「スーホの白い馬」の
物語を風^{かぜ}にのせて語った…。でもエンジンも
止まり、海をただようボートで目的地へたどり
つけるだろうか。



あすなろ書房
[933ル]



『ヨーン じいちゃん』ペーター＝ヘルトリング作 上田真而子訳

頑固^{がんこ}だけれど、じやさしいぼくのヨーンじいちゃん。
新しい家で一緒に住むことになったけど、毎日ハラハラする
ことばかり。いきなり壁^{かべ}を真っ白にぬりかえたり、三角布の
水泳パンツで泳いだり、そのうえ、恋^{こい}をしたり！
「おい、孫^{まご}ぼうず、…わしはまだまだうっとりとして、わくわく
して、首^{くび}ったけになることがでけるんだ。」

偕成社 [943ハ]

『和ろうそくは、つなぐ』 大西 暢夫

和ろうそくって、どうやって作られ、なにからできている
のだろう。「捨てるものはひとつもないんです。昔の人は
本当によく考えていますね」と、和ろうそく職人の松井さんは
言う。和ろうそくの原料の蠟^{ろう}から、藍染^{あいぞめ}、焼き物、和紙、
灯心^{とうしん}、墨^{すみ}、真綿^{まわた}、そしてまた、和ろうそくへ…。

職人さんの知恵と、モノづくりはつながっていく。



アリス館 [57オ]